

平成 29 年 1 月 9 日

総 務 大 臣 殿

三重県鈴鹿市住吉町 8947  
株式会社 鈴鹿メディアパーク  
代表取締役社長 加藤 正彦

番組審議機関関連について（報告）

下記の○印の事項について、放送法施行令第 7 条第 3 号イの規定により、別紙の書類を添えて提出します。

記

- 1 番組審議機関の名称変更
  - ・変更内容の新旧対比表
- 2 審議機関の組織及び運営に関する規程の変更
  - ・変更内容の新旧対比表
  - ・変更後の現状
- 3 審議機関の委員の変更  
様式 6-1 のとおり。
- ④ 審議機関の会議の議事録  
様式 6-2 のとおり。

第 40 回 Suzuka Voice FM 番組審議会 議事録

審議会開催日時 平成 28 年 12 月 26 日 (月) 16 時 00 分～17 時 00 分

開催場所 Suzuka Voice FM 会議室

事務局：益川英明 (Suzuka Voice FM)

出席者：(敬称略) 山崎昭 亀井秀樹 玉川登美男 西山哲也

欠席者：(敬称略) 長橋裕子 長谷川啓志 市野聖治

放送事業者側出席者：益川英明

委員長：山崎昭

委員総数 7 名

出席委員数：4 名

■番組名 「おおきくなったらなになりにしたい」  
(後援／鈴鹿市教育委員会、鈴鹿私立保育園連盟、鈴鹿市私立幼稚園協会)

鈴鹿市内の幼稚園・保育園の園児のみなさんに、自分たちの夢などを発表してもらう番組です。11月には『白子ひかり幼稚園』にご協力をいただき、園児のみなさんの元気な声をお届けします。ラジオに出演することによる思い出づくりや、自分の夢を考えて発表することによる学び、親戚や祖父母への成長報告にもなります。

～番組内容を音源で検聴～

委員長：それでは、ご意見を伺います。

委員：子どもたちの夢や、元気な声が響いているのは良いなあと思って聴いた。  
ゆっくり喋っているのも、子ども向けにも大人向けにも良い。

委員：好きな給食を答えるところは、子どもたちが色んなメニューを言っていた。  
今の子どもたちが分かって、広がりを感じた。  
給食以外でも「好きな果物は？」なども聞いてみたい。

委員：「おおきくなったらなになりにしたい」も、今の子どもらしい職業（デザイナー）  
が登場して面白かった。一方、ウルトラマンになりたいと言っていた子どももいた。  
子どもらしくて良いと思った。

委員：子どもたちのハキハキした声は、自分の小さい頃を思い出させる。  
これからの期待したい。収録機材は回しっぱなしか？

事務局：インタビュアーは、園の先生にお願いしてあります。  
機材を渡してあるので、方法は様々です。

委員長：子どもへのインタビューは難しいと思う。

委員：声を聴いているだけでも、園の様子が想像出来る。  
ただ、インタビュー形式よりも、園の様子を録ったものの方が聴きやすかった。

委員：なりたい職業の中で、「お巡りさん」と言わずに「警察官」と言っているのには  
新たな発見があった。  
折角なので、全員の声を届けた方が、親も喜ぶのでは？

事務局：園とも相談して、今は年長さんと年中さんが中心になっています。

委員長：それも、園に任せてあるのですね？

事務局：はい、そうです。

委員：録った声をカットすることもあるのか？

事務局：それは無いです。園からリストが届きますので、確認しています。

委員長：親からの評価は？

事務局：聞き逃したので、再放送はいつか？との問い合わせを頂きました。

委員：音源 CD を販売しても良いのでは？記録になるので良いと思う。

事務局：園には、「声のタイムカプセル」として、音源を差し上げています。

委員長：今の時代は、タイムカプセルってやってないのかな？

委員：今は、埋めた場所が分からなくなるとの理由でやってないみたいだ。(笑)

委員：今回の園は、教育方針の中で「英語授業」をやっているとっていた。  
これから預けようと思っている親にも聴いて欲しい内容だった。

委員：園の教育方針だけを並べる回があっても面白い。

委員長：番組に歴史が出来ると、20年後の成人式に流すことも出来る。  
長い年月、継続してもらえると価値が上がると思う。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。

以上